

生徒指導にかかわる引き継ぎについて③

前号では、道教委が実施する「中1ギャップ問題未然防止事業」の指定校の実践を参考に、小学校から中学校への引き継ぎシートの例を紹介しました。

今回は、中学校から高等学校への引き継ぎの工夫について資料を作成しましたので活用してください。

中学校から高等学校への引き継ぎの工夫

<小学校・中学校間と中学校・高等学校間の引き継ぎの現状>

	小学校・中学校間	中学校・高等学校間
主な時期	中学校入学前（小学校在籍中）	高等学校入学後（中学校卒業後）
主な内容	学習・生活（問題行動等を含む）・出欠・交友関係の状況、リーダー性、家庭環境など	学習の状況、行動の様子、出欠の状況（個人調査書の内容）、友人関係など
主な方法	小学校教員が中学校を訪問、又は中学校教員が小学校を訪問して実施	高等学校教員が中学校を訪問して実施

<中学校から高等学校への引き継ぎの工夫例>

①時期、内容、方法を中・高間で共通理解する

- ・当該の中学校、高等学校間で引き継ぎにかかわる基本的な事柄について共通理解を図ります。
- ・中学校が遠方にあるなど、対面による引き継ぎが難しい場合の対応をあらかじめ協議しておきます。

②引き継ぎシートを活用する

- ・高等学校が必要としている情報（項目）を中学校に伝え、中・高間で共通理解を図ります。
- ・できるだけ簡潔に記入できるよう、小・中学校で使用しているような引き継ぎシートを作成し、活用します。

③いじめ等の内容を取り入れる

- ・いわゆる高1クライシスの未然防止を図るために、中学校におけるいじめや不登校等の生徒指導に関する情報を引き継ぎ内容に取り入れます。

※ 中学校・高等学校間の連携を一層進める中で、「中学校でそのようなことがあったのか」ということがなくなるよう、学校や地域の実情を踏まえた引き継ぎの充実に努めましょう。